

2011/04/15(金)11:05

履修コード	106801		
開講年度	2011年度 前期～後期	単位数	4
科目名	演習II	付記	
担当教員氏名（主担当）	小林 正人	カナ氏名（主担当）	コバヤシ マサト
担当教員氏名（副担当）		カナ氏名（副担当）	
講義の到達目標(ねらい)	テーマは「景気循環と雇用・貧困」。 2008年リーマン・ショックは世界経済を深い不況にまきこみ、世界中に非自発的失業者や低賃金労働者を増やしました。日本経済は、米国流の金融投機へのかかわりは浅かったにもかかわらず、その後の円高によって低迷し、それまでの非正規労働者の増加や財政赤字による内需不振、中国経済の成長などの影響もあり、産業空洞化と雇用劣化に向かいつつあります。それはまた米国や日本の格差や貧困の問題を浮かび上がらせました。 そこで、このゼミでは、景気循環の理論や歴史、リーマン・ショックの背景、失業者が大量に生み出される理由、派遣労働やワーキング・プアの実情、「景気対策」の限界などについて考えていくことにします。		
講義の内容／授業スケジュール	雇用、失業や、貧困、格差について考えることと平行して、景気循環の理論や歴史について学んでいきます。 前期は入門的な文献（複数冊）や新聞記事などについて議論をしながら、同時に文献資料の読み方、議論の進め方、論点の出し方、発表資料（レジュメ）の構成、発表の仕方などを学びます。後期はより専門的な文献（複数冊）を選んで議論しながら、グループに分かれて共同研究やプレゼンテーションに取り組み、自主的な調査や討論の方法について学びます。 以上、今年度は演習Iと同じです。 また、以上の発表や調査をふまえて、次年度の演習IIIで卒業論文を完成させます。		
準備学習	ゼミで議論する文献については全員があらかじめ熟読し、必要な事項を調査し、論点や疑問点、自分の感想や意見をまとめておくこと。		
履修上の留意点	ゼミの中心は、ゼミ生が作成する発表資料と、ゼミ生どうしの討論や学び合いです。ゼミ生は、発表資料を作成するために、パソコンのワープロソフトを使えることが必要です。 ゼミで議論する文献はゼミ生と相談して決めますが、決まったら各自が購入する必要があります。		
成績評価の方法	作成した発表資料、ふだんの調査や発表、出席状況を総合して評価。無断欠席は厳禁。		
教科書／テキスト	前期用の入門書、後期用の専門書などをゼミ生と相談して決めます。		
参考書	下記の本は入門書の候補です。 ・堤 未果『ルポ貧困大国アメリカII』岩波書店、2010年。 ・NHKスペシャル『ワーキングプア』取材班編 『ワーキングプアー日本を蝕む病』ポプラ社、2007年。 ・浜 矩子『グローバル恐慌－金融暴走時代の果てに』岩波書店、2009年。 ・NHK取材班『マネー資本主義－暴走から崩壊への真相』NHK出版、2009年。		
その他	4年次の演習IIIに「卒業研究」（4単位、卒業論文のみ）を併設します。		
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/		